

みずほCustomer Desk Report 2016/04/14 号(As of 2016/04/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	108.69
TKY 9:00AM	108.70	1.1382	123.71	0.9555	1.4270	0.7686
SYD-NY High	109.40	1.1391	123.85	0.9671	1.4278	0.7717
SYD-NY Low	108.52	1.1268	123.03	0.9553	1.4192	0.7634
NY 5:00 PM	109.35	1.1273	123.31	0.9668	1.4206	0.7655
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.975/11.415	△25RR	1.185	Yen Call Over		

NY DOW	17,908.28	187.03	債券市場	日本2年債	-0.2400	1.1bp
NASDAQ	4,947.42	75.33		日本10年債	-0.0760	2.6bp
S&P	2,082.42	20.70		米国2年債	0.7464	0.8bp
日経平均	16,381.22	452.43		米国5年債	1.2125	0.2bp
TOPIX	1,332.44	33.09		米国10年債	1.7639	▲1.2bp
シカゴ日経先物	16,655	540.00	為替市況	独10年債	0.1280	▲3.7bp
ロンドンFT	6,362.89	120.50		英10年債	1.4230	▲1.9bp
DAX	10,026.10	264.63		豪10年債	2.5180	5.4bp
ハンセン指数	21,158.71	654.27		USD/CNH	6.4848	0.0108
上海総合	3,066.64	42.99		ドルインデックス	94.80	0.84
USDJPY 3M Vol	10.78	▲0.14%	商品市況	CRB指数	175.653	0.17
USDJPY 6M Vol	10.48	▲0.12%		NY金	1,248.300	▲12.60
EURJPY 3M Vol	11.79	▲0.04%		WTI	41.760	▲0.41
EURJPY 6M Vol	11.36	▲0.12%		Dubai Spot	40.53	1.01

東京	午後二時に安値108.52をつけた後、108円台半ばで推移していたドル円は、108.70レベルで東京時間オープン。海外時間の流れを引き継いで原油価格の反発を背景にリスクセンチメントが改善、加えて、発表された中国3月貿易統計で輸出が前年比+11.5%と予想(同+10.0%)を上回り、輸入も前年比-7.6%と予想(同-10.1%)されたほどの減少とはならなかったことも相場のサポート材料となり、高寄りした日経平均株価は前日比400円超高まで上昇。この流れにあわせてドル円も109.00まで連れ高となる。しかし、その後は戻り売り等から、108.80台まで下落し、結局ドル円は108.96レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は上昇。108.96レベルでオープン後、サウジ石油相の「サウジは原油減産せず」の発言に原油が売られたことにつれ安となり小幅ながら108.80まで下落。しかし、その後は原油価格が下げ止まったことや短期筋のショートカバー等からドル買い優勢となり、結局109.36レベルまで上昇してNYに渡った。ユーロドルは下値を切り下げた。1.1358レベルでオープン後、アジア時間に発表された中国3月貿易統計が市場予想比良好となったことや前日の原油高等を好感しDAXを中心とした欧州株が高寄りし、堅調に推移。同時にドル買いが強まったことでユーロドルは終始売り優勢となり、一時3月30日以来の安値となる1.1296まで低下。結局1.1302レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	本日のドル円は109.36レベルでNYオープン。朝方、米3月小売売上高(前月比)が-0.3%と予想外のマイナスとなったほか、米3月PPI(前月比)は-0.1%と2ヶ月連続のマイナスだったことから、ドル買いが後退しドル円は109.02まで下落。その後、タウが上昇する中、ドル円は買い戻しが優勢となり一時109.40まで上昇。しかし、14日から開催されるG20や週末にドーハで開かれる産油国の会合などを控え上値も限定的で109円台前半での取引が続いた。午後に入り、タウが一段高となる中、ドル円は再び109.40まで上昇。結局、109.35レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロドルは1.1302レベルでNYオープン。朝方はドル売りが優勢となり一時1.1326まで上昇。しかし、午後に入りタウが上昇する中、ユーロドルは売りが優勢となった。結局、ユーロドルは一時1.1268まで下落し、1.1273レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月13日	08:50	国内企業物価指数(前月比/前年比)	3月 -0.1%/-3.8%	0.0%/-3.5%
	-	貿易収支	3月 \$29.86B	\$34.95B
	-	輸出/輸入(前年比)	3月 11.5%/-7.6%	10.0%/-10.1%
	18:00	鉱工業生産(季調済、前月比/前年比)	2月 -0.8%/0.8%	-0.7%/1.3%
	21:30	小売売上高(速報、前月比)	3月 -0.3%	0.1%
	21:30	PPI(最終需要、前月比/前年比)	3月 -0.1%/-0.1%	0.2%/0.3%
	21:30	コアPPI(最終需要、前月比/前年比)	3月 -0.1%/1.0%	0.1%/1.3%
4月14日	03:00	ベージュブック公表	-	-

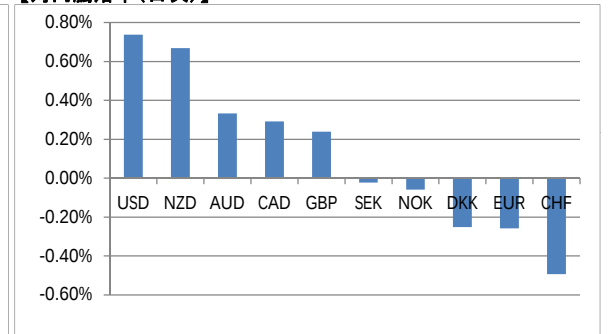
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月14日	08:50	対外対内証券投資	-	-
	10:30	雇用者数変化/失業率	3月 17.0K/5.9%	0.3K/5.8%
	18:00	CPI(速報、前月比/前年比)	3月 1.2%/-0.1%	0.2%/-0.2%
	18:00	コアCPI(速報、前月比/前年比)	3月 1.0%	1.0%
	20:00	BOE政策金利	- 0.50%	0.50%
	21:30	新規失業保険申請件数	- 270K	267K
	21:30	CPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/1.1%	-0.2%/1.0%
	21:30	コアCPI(前月比/前年比)	3月 0.2%/2.3%	0.3%/2.3%
	23:00	ロックハート・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	パウエル・FRB理事 講演	-	-
	23:00	G20財務相・中銀総裁会議(-15日)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50-110.00	1.1200-1.1350	122.00-124.00

【マーケット・インプレッション】

昨日は、アジア時間から世界中で株価が堅調に推移する中で市場のリスクセンチメントが改善、ドル円相場も108円台半ばから109円台前半まで水準を切り上げた。中国3月貿易統計が市場予想比良好な結果となったことなどが好感された模様。本日もリスクセンチメントの改善を受けて一旦はドル円は上昇しよう。しかし、110円を上回るところでは本邦輸出企業の円転意欲等も意識されようから、投機筋としてもドル円を大きく買い上げるよりも、戻り売りを狙う展開となりやすいか。結果的に上値の重さが意識される展開を予想している。